

景観に関する市民意識調査

アンケート実施期間 平成30年6月1日 ~ 平成30年6月10日
 回答者数 180名 (登録者数 461名 うち配信成功数 453名)

●性別

男性	120	67%
女性	60	33%
計	180	

●年齢

20代以下	3	2%
30代	22	12%
40代	35	19%
50代	38	21%
60代	52	29%
70代以上	30	17%
計	180	

Q1 岡崎市の景観（まちの景色）に関心がありますか。

とても関心がある	72	40%
まあまあ関心がある	88	49%
あまり関心が無い	18	10%
まったく関心が無い	2	1%
計	180	

Q2 今後のまちづくりにおける「景観」の役割を重要だと思いますか

とても重要だと思う	96	53%
まあまあ重要だと思う	77	43%
あまり重要だと思わない	7	4%
まったく重要だと思わない	0	0%
計	180	

Q3 現在の岡崎市の景観に誇りや愛情を感じますか

とても感じている	22	12%
まあまあ感じている	77	43%
あまり感じていない	71	39%
全く感じていない	10	6%
計	180	

Q4 現在の岡崎市の景観は、昔と比べてどのように感じますか

とても良くなった	10	6%
少し良くなった	55	31%
変わらない	39	22%
少し悪くなった	36	20%
とても悪くなった	8	4%
昔の景観を知らない	32	18%
計	180	

Q5 次のうち、良好な景観を損なうと思われる行為や要素を最大3つまで選択してください

ごみの不法投棄や土石・廃棄物等の野積み	97	22%
周辺のまちなみから突出した高さの建造物	46	10%
周辺のまちなみと調和しないデザインや色の建造物	67	15%
電柱、電線類	68	15%
まちなかの張り紙、貼り札、広告旗、看板	61	14%
田園地域の幹線道路沿いに建っている大型の看板	27	6%
ビルの壁面看板や、屋上に設置された広告塔	29	7%
デジタルサイネージ（液晶パネルやLEDなどで作成された屋外広告物）	23	5%
特にない	3	1%
その他（自由記述）	23	5%
計	444	

Q 6 次の選択肢から、大切だと思う岡崎の景観要素を最大3つまで選択してください

田園風景や山なみなどの自然景観	84	17%
岡崎城や東海道などに象徴される歴史的な景観	136	28%
人の営みを感じさせる、路地や古い建築物のまちなみ	64	13%
きれいに道路や街区が整備された良好な住宅街のまちなみ	46	10%
ビルや高層建築に代表される近代都市のまちなみ	6	1%
中心市街地を流れる乙川に代表される、自然景観と調和した都市景観	99	20%
都市の緑地	44	9%
特にない	1	0%
その他（自由記述）	4	1%
計	484	

Q 7 良好な景観を形成するためのルールづくりについてどう思いますか

建築や看板設置などの行為を厳しく規制すべきだと思う	77	43%
建築や看板設置などの行為をゆるやかに誘導すべきだと思う	91	51%
必要ない →Q12へ	12	7%
計	180	

Q 8 景観に関する規制を行う場合に、必要だと思うルールを最大3つまで選択してください

敷地内の緑化	54	13%
景観的に優れた樹木の保全	88	21%
看板などの屋外広告物の大きさや設置場所	104	24%
建築物や看板などの色やデザイン	69	16%
建築物の高さや大きさ	45	11%
道路や橋などの公共施設の色やデザイン	62	15%
その他（自由記述）	4	1%
計	426	

Q 9 今後、岡崎城周辺エリアの建物についてどのような高さ規制が必要だと思いますか

岡崎城を中心とする周辺区域に規制が必要	82	49%
特定の視点場から岡崎城天守を望む眺望景観に対する規制が必要	71	42%
高さ規制は必要ない	15	9%
計	168	

Q 10 店舗や事務所看板の面積や高さに関する規制について妥当だと思うものを選択してください

市全域の規制強化	36	21%
規制緩和する場所と、規制強化する場所にメリハリをつける	113	67%
現状のままで良い	9	5%
市全域の規制緩和	2	1%
わからない	8	5%
計	168	

Q 11 店舗や事務所などの屋外広告物について、望ましい規制方針を最大3つまで選択してください

特に景観を保全すべき地域などで重点的に規制強化する	116	35%
特に賑わいを創出する地域などで重点的に規制緩和する	51	15%
広告物の面積について規制を強化する	44	13%
まちなみに調和するよう、広告物のデザインに関する指導を強化する	116	35%
広告主の自由にまかせる	3	1%
その他（自由記述）	3	1%
計	333	

Q 12 行政が行っている以下の取り組みのうち、知っているものを選んでください

岡崎百景	116	37%
おかざき景観賞	41	13%
岡崎いいところ風景ブログ	14	4%
地域の景観まちづくり支援	21	7%
光ビスタラインなどの景観啓発事業	87	27%
知らない	38	12%
計	317	

Q13 景観まちづくりを進めるうえで行政に求める役割を最大3つまで選んでください

市民の景観意識向上を目的とするセミナーやシンポジウムなどのイベント開催	30	6%
光ビスタラインのような景観啓発事業	32	7%
歴史的な建物や景観的に優れた樹木、まとまった緑の保全	89	19%
景観づくりに貢献する建築改修や活動に対する補助金等	41	9%
看板等の規制強化	35	7%
建築行為等のデザインに関するルール策定による景観の規制・誘導	39	8%
八帖地区、藤川地区などのような景観まちづくりのルールの策定	34	7%
公共空間の緑化	31	7%
良好な景観を誘導するような公共事業の推進	37	8%
魅力ある夜間景観の創出	11	2%
殿橋や明代橋のライトアップのような空間演出施設の整備	12	3%
電線類の地中化	54	11%
景観の専門家の参画	13	3%
その他（自由記述）	18	4%
計	476	

Q14 景観まちづくりを進めるうえで市民が取り組むべきだと思う役割を最大3つまで選んでください

地域の公園や道路などを近所の人と協力してきれいにする	132	34%
地域や家庭で花や緑を増やす	69	18%
景観ルールの話し合いなどに参加する	44	11%
地域の景観づくりに取り組むまたは活動に参加する	71	19%
自分の家のデザイン等を、周辺の景観と調和するよう配慮する	27	7%
シンポジウムやイベントに参加する	22	6%
市民が取り組むべき内容はない	9	2%
その他（自由記述）	9	2%
計	383	

Q15 景観まちづくりを進めるうえで事業者が取り組むべきだと思う役割を選んでください

周辺の景観への調和に配慮した建築物や看板等のデザイン	132	40%
地域の景観づくりへの積極的な参加・協力	99	30%
生垣や花壇等による施設周りの緑化	82	25%
事業者が取り組むべき内容はない	6	2%
その他（自由記述）	8	2%
計	327	

● Q5 ☆重複する内容はまとめてあります

西高の東側の東屋に不審者は通報しますという意味のない看板が貼られているが、あんな明るいところに不審者はでない。禁煙の看板がはがれされているが、毎日中年の女性が煙草をすいにくる。それを口実に煙草をすう未成年が集まってくる。東屋を撤去してほしい。
大通り沿いの風俗店、ゴミ屋敷、歩道沿いの長く伸びた草など 汚いと感じるもの。
新旧入り乱れた統一性のない街並み、受け継がれた歴史を感じられない。
伊賀から康生にかけての道路沿いの燃えるゴミの収集日のゴミ。
作業をしていない工事や剪定作に期間を設けて通りを塞ぐ無計画なところ
道路が凸凹してる
空き地や空き家の存在
景観には道路や人も含まれる。渋滞が多い道はどれだけ見た目を良くしても印象が悪い
太陽光パネル
古い建物を目立たせようとする行為
伊賀川の桜並木がひどいことになっています。河川工事のやり方も景観を重視した方法がなかったのかととても残念です。
岡崎城周辺に調和しない建物
街路樹の伐採
河川のごみも景観を損なうが、コンクリートで改修された川も自然に対する景観を大いに損なう
車道と歩道の間にある植え込みが枯れたままになっていたり、近隣住民が勝手に自分の好きな花を植えていたりして見苦しい。山頂からの眺望を妨げるほどに育った木がそのままになっている。
シャッター通りや壁に書かれた落書き
歩道（含む自転車道）の整備が遅れている
西から望む、東の山並みとマッチした街並みが岡崎の誇り（広重の東海道53次）
デジタルサイネージにしる壁面看板、広告塔、張り紙にしる周りとの調和が問題かと思うので、単独としてはどうこう思わないがそぐわなければ景観を損なうと思う。
マンション、新興住宅
朽ちた広告板、廃屋、錆びた歩道橋
公園の野良猫、違法駐車

● Q6

事業所が建てられると建物だけで緑の空間のスペースが確保されていない。暑さ寒さには緑の空間が大事と思う。
ビスタライン
手入れのされた寺、神社 建物と境内
三河武士の発祥地

● Q8

ゴミ屋敷、廃墟になった建物を放置しない。（景観と治安維持の観点から）
明確な指針
規制を強化すれば街としての特色が無くなってしまふ。町全体の景観として考えるべき？
市民が協力してこそ、岡崎全体のレベルが上がると思います。

● Q11

岡崎市が推進するデザインで作る看板屋を作って、依頼しやすい環境を作る。
まちなみに調和するよう、広告物のデザインを指導する
webで広告物の効果が薄れてきれいになるので、その辺も考え規制強化可能では

● Q13

税金節約
優先順位を見極め効率の良く計画的に推進していく指導力
市内すべて規制すると予算がかかるので、新興住宅地周辺など狭いエリアでコンセプトをもって景観づくりをするべきである。岡崎駅周辺である。1点放火集中的に。他の地域はとりあえず捨てるべき。人口減少により穴空きの土地が増えるので景観どころではない。新興地域に予算を振り向けることが大事である。予算、力の分散化は愚策である。
岡崎市に都市計画はあるのか？景観だけではなく、都市計画・土地利用規制をすべき。
ごみをすてさせないよう、煙草を吸う場所を東京のように指定する。
最先端のプロの意見を聞く
ボランティアの力による景観維持や福祉的な役割大なので次世代の協力者育成PRヘルプ
道路の整備
渋滞緩和
目指すべき景観を視覚化・明確化し、目標達成に向け旗を振ること。規制することが役割ではないし規制すべきではない。古い町並みを残すことは良いが、調和のとれた近代的な都市構築を目指すこと。過去の遺産にしがみつくな。
桑谷山の展望台から木で市街が望めない、勿体ない、多くの人が切って欲しいと望んでいる。
岡崎市民の総意によることが大事
必要以上に明るい照明が街にあふれているので規制して欲しい。(もっと星の見える夜空に戻して欲しい)
岡崎城の耐用年数も近いと思う。木造による再建を検討する。橋より岡崎城の方があらゆる面で価値が高い。
市民活動を奨励し小さくても長期的な支援。活動団体の情報配信場を提供
ライトアップは良いと思わないのでやめてほしい。生態系にはほぼほぼ悪影響だし、ビスタラインの光の道のようなものも1日なら許容できるがずっとはやめてほしい。
公園美化、例えば、簗田公園もひどく殺風景だ
道路の白線や止まれなどの文字が消えている所が多過ぎる。危険だしみすぼらしい。

● Q14 ☆重複する内容はまとめてあります

小規模宅地にマッチ箱のような家(外観)を作らない(買わない)
新築や改築などの際は景観を考える
ごみのポイ捨てをしない。ごみだしルールを守る。自分の土地の適切な管理。
市民は緑化には積極的だと思う。問題は事業所、公的機関。
過度な役割は、持たせないほうが良い。
廃屋の撤去
道路沿いの排水路の清掃、町内こぞってやるように促されているが出来てない。汚泥処理が難点
関心が薄いと思われる若い人への啓蒙活動

● Q15

小規模宅地にマッチ箱のような家(外観)を作らない(売らない)
強制的な取り組みは、しないほうが良い。トータルプランニングとして街づくりに参加してもらう。
朽ちた建造物や錆びた広告看板の撤去、公園美化
建築物や所有地など周辺の適切な管理。
近代的で機能的な町作りに取り組む。過去の遺産に縛られるな。
岡崎市の歴史や文化への理解を深める
事業者も千差万別、ひとくくりできない。協賛金・寄付金を募るケースもあるが、活動参加を
市の指導に素直に従う

☆アンケート回答にご協力いただいたみなさまへ
 岡崎市は、将来にわたる豊かな市民生活の基盤となるまちづくりを目指しています。今回の調査は、景観まちづくり施策を進めるにあたり、本市の景観に対する市民の思いやニーズを把握することを目的として行ったものです。調査で得られた結果は、今後の景観まちづくりに反映させてまいりたいと考えています。